

平成 27・28 年度人権教育研究指定校の実践

県立金谷高等学校

●研究テーマ

差別や偏見のない社会を実現するために、自他の存在を認め、主体的に行動できる生徒の育成
—かかわり合いを通して—

●全校、学年等で取り組んだ人権教育の実践例

- ①福祉講話（全学年）
障がい者の方の講演の聴講、DVD「バリアフリーとは」鑑賞、車椅子体験 など
- ②人権講演会（全学年）
静岡県人権啓発センター、静岡県警の方を招いての講演会
- ③全校一斉の参加体験型人権学習（全学年）
「幸せな社会に必要なものは？」ダイヤモンドランキング作成、グループ協議
- ④ソーシャル・スキル・トレーニングによるHRづくり、仲間づくり（1年生）
トラストアップ、バースデーラインといったアクティビティを実施
- ⑤ボランティア活動（ボランティア同好会）
島田市障がい児親の会遊び会、藤枝特別支援学校などとの交流を通じての活動

●各教科における人権への配慮の例

- ①生徒が人前で自信を持って発表できるように配慮する。
- ②誰に対しても丁寧な言葉遣いを心掛ける。
- ③生徒一人ひとりの進行状況の把握に努める。
- ④どのような生徒でもわかるように、視覚で訴えるような授業を意識する。「あなたたちならできる」といった声かけをし、生徒が自己肯定感を高められるよう努める。
- ⑤自尊感情を損ねないよう成功の体験を積み重ねられるような授業を展開する。

●教職員の声

- ①一人ひとりの存在を認めて生活していくことの大切さを感じた。
- ②人権教育とは特別何かをするのではなく、日常の指導の中で行っていること全てが目的達成に繋がると思う。
- ③各自の価値観、個性、大切なことの違いと、他を認め尊重する生徒の姿を見ることができた。



●生徒の声

- ①自分の意見に自信を持ち、みんなの前で発表することができるようになった。
- ②いつもしっかり発表や意見などを聞いてくれる友達に感謝したい。
- ③人それぞれ感じ方が違って、自分の意見と違うことが多いことがわかった。

●生徒アンケート結果

